

三菱倉庫グループは、地球環境対応を重視し、誠実かつ公正な企業活動を通じて、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。



取締役社長
藤倉 正夫

MLC2030ビジョン

「お客様の価値向上に貢献する」を第一に、お客様のパートナーとして
調達から流通・販売までのサプライチェーンを一貫で担うロジスティクス企業

はじめに

三菱倉庫は、企業理念として「誠実かつ公正な企業活動を通じ、適正な利潤の確保と会社の安定した成長を図り、ステークホルダーの皆さまに報いるとともに、豊かで持続可能な社会の実現に貢献する」ことを掲げ、この理念を実現するため当社グループの「行動基準」を定めています。

企業活動については、グループ各社とともに、内外にわたり、倉庫事業を核として、陸上運送・港湾運送・国際運送取扱の各事業を情報ネットワークで結び、国内外一体のロジスティクス事業を拡充し、また、会社所有地を活用したビル賃貸を中心とした不動産事業を営んでいます。特に、物流は経済の基盤であり、平時は無論のこと、自然災害の発生時等においても、その機能が求められる公共性の高い社会インフラと言えます。当社グループは、あらゆる産業にかかわりを持ちながら、物資の調達、生産、販売の各段階で幅広く人々の生活と企業の経済活動のお役に立つべく努めています。

経営計画[2019-2021]の最終年度

今年度は2019年4月からスタートした経営計画[2019-2021]の最終年度となります。昨年度からの新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大の影響により、EC市場等、一部で荷動きが活発になる状況は見受けられるものの、国内外とも景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となっています。

このような状況のもと、国内事業で確実に収益性を確保し、国外事業に成長を求めるといった基本的な考え方は変更せず、従来からの取組みを基礎に前へ進めることにしています。

また、経営計画の策定にあわせ、2030年に向けてどのような企業グループになるのか、目指す姿を「MLC2030ビジョン」(P18)として決めました。

今回の中期経営計画を、「MLC2030ビジョン」の実現に向けた飛躍のための第1ステージと位置づけるとともに、副題を「イノベーションで実現する三菱倉庫グループの成長計画」とし、2030年に向けた取組みを進めています。

企業の社会的責任

当社は、1997年に「行動基準」を制定し、法令遵守の一層の徹底、適切な企業情報の開示、地球環境対応、安全・良質で社会的に有用なサービスのご提供等に取り組む姿勢を明確にしています。また、2014年5月には国連が提唱するCSRの普遍的原則である「国連グローバル・コンパクト」に賛同し、支持表明しました。事業活動において、人権、労働、環境、腐敗防止に関する国際的に認

められた規範を遵守し、社会的責任を果たしていくことが豊かで持続可能な社会の実現につながると考えています。この姿勢をグループ全体に浸透させるため、経営計画の中の具体的な戦略としてCSR活動を推進することを明確にした上で、具体的な施策に織り込んでいます。

物流、不動産という社会とのかかわりの深い事業活動を行う中で、当社グループがこれからも社会から存在価値が認められ、将来にわたって成長していくためには、同計画の着実な実行が求められます。特に、気候変動が原因と考えられる世界的な自然災害の増加、激甚化を受け、自然災害リスク低減に対する需要が高まっており、防災機能と地球環境対策を一層強化した「災害に強いECO倉庫」の展開と、同様の機能を備えた「災害に強い環境配慮型オフィスビル」の建設を進めています。

また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、事業継続に取り組みしました。物流事業者として、現在進行形のリスクにも対応し、企業の社会的責任を果たすことができたのではないかと考えます。

ESG経営/SDGs対応に向けた取組み

そうした状況の中、各ステークホルダーの皆さまからの声にお応えし、ESG経営/SDGs対応に向けた取組みを整理し、取り組んでいくこととしました。後ほど詳細をご紹介いたしますが(P12)、6つの重要テーマを定め、「MLC2030ビジョン」と同じく2030年度に達成を目指すこととしています。

重要テーマとも重なりますが、取組みにあたっては、安全・安心を大切にすること、環境を大事にすることの2つをベースとしつつ、イノベーションの推進とパートナーシップの構築を通じて、新たな価値を創出・提供するとともに、働き方の多様性も実現していきます。

これは、三菱グループの歴史の中で受け継がれてきた三菱三綱領(P13)の精神に繋がるものと思います。

当社グループが大事にしてきた「企業活動を通じて、豊かで持続可能な社会の実現に貢献する」を再徹底し、お客様・パートナー等とともに、新たな社会づくりを進めていくことにより、当社グループの価値創造と成長を目指します。

今後は、ESG経営/SDGs対応に向けた取組みを次期経営計画に反映させるとともに、掲げた目標を確実に達成するため、サステナビリティ委員会を設置し、進捗管理、施策内容やKPIの定期的な検証と入れ替え、統合報告書やホームページ等を通じた社内外の皆さまとのコミュニケーションの拡充等、質の高い取組みを進めてまいります。皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。